

令和3年8月24日

「第15回 企業技術説明会」 発表技術の募集について

新潟港湾空港技術調査事務所では、民間企業等で開発された新技術等について、『管内事業で有効活用するための情報収集』、『技術開発の現状と動向の把握』及び『官民の情報共有』を行うことを目的として、民間企業等の皆様から整備局職員等に対して技術の概要を発表いただく「企業技術説明会」を開催いたします。

つきましては、本説明会で発表していただく技術を下記のとおり募集いたします。

記

1. 開催日時：令和3年10月14日（木）13：30～16：00（予定）
2. 開催方法：web会議形式
3. 募集技術：
 - 1) 管内事業（港湾・海岸・空港）の施工や調査・設計に活用が期待される技術
 - 2) 経済性、安全性、耐久性、品質・出来形、施工性、周辺環境への影響又はその他の項目の何れかが従来技術より優れている技術
 - 3) 今後普及が期待される技術
 - ・港湾におけるインフラDXの推進に関する技術
 - ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化に関する技術
 - ・気候変動を踏まえた検討・対策に関する技術
 - ・空洞化の詳細調査手法や補修に関する技術
 - ・施設の老朽化に対応するための技術
 - ・i-Construction、BIM/CIMに関する技術
4. 応募期限
令和3年9月15日（水）必着
5. 応募方法
応募方法等詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp/gijutsu/kigyouseitumei/index.html>

お問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

TEL 025-222-6115 技術開発課 辻（つじ）、大島（おおしま）

第15回 企業技術説明会 発表技術募集要項

本説明会は、民間企業等で開発された新技術等について、「管内事業で有効活用するための情報収集」、「民間等における技術開発の現状と動向の把握」、「官民の情報共有」を行うことを目的として実施するものです。

1. 開催日時

令和3年10月14日（木） 13:30～16:00（予定）

発表時間は、1技術25分（発表20分、質疑応答5分）程度とします。

（時間については発表数により変更する場合がございます。）

2. 開催方法

Web会議形式（Microsoft teams）

3. 募集技術

公共事業に適用可能な技術全般とし、以下の1)～3)の全てに該当するもの。なお、技術の成立性が確認されており、実際に使用可能な技術であることを条件とします。理論上のみの技術の応募はご遠慮下さい。

- 1) 管内事業（港湾・海岸・空港）の施工や調査・設計に活用が期待される技術
- 2) 経済性、安全性、耐久性、品質・出来形、施工性、周辺環境に与える影響又はその他の項目で従来の技術より優れている技術
- 3) 今後普及が期待される技術
 - ・ 港湾におけるインフラDXの推進に関する技術
 - ・ 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化に関する技術
 - ・ 気候変動を踏まえた検討・対策に関する技術
 - ・ 空洞化の詳細調査手法や補修に関する技術
 - ・ 施設の老朽化に対応するための技術
 - ・ i-Construction、BIM/CIMに関する技術

4. 応募方法

別添応募様式に必要事項を記入し「5. 事務局」までメールにて提出下さい。必要に応じて、パンフレット等の資料を添付して下さい。ただし、パンフレット等の資料については、メール、郵便、直接の持ち込み、どの方法で提出いただいても構いません。

なお、応募技術について、事務局より問い合わせの連絡をさせて頂く場合があります。

5. 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 技術開発課

[担当：辻（つじ）、大島（おおしま）]

住所：〒951-8011 新潟市中央区入船町 4-3778

TEL：025-222-6115 FAX：025-227-3225

E-mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp

6. 応募期限

令和3年9月15日（水）必着

7. その他

- 1) 応募技術は、「3. 募集技術」の項目を満たしているか等を事務局で確認した上、応募多数の場合、抽選で選ばせて頂きます。抽選に漏れた場合は次回開催時にご応募願います。（次回開催は、来年10月頃を予定しております。詳細については後日、HP等でお知らせします。）
- 2) 選定結果及び説明会プログラム等の詳細については、事務局より追って連絡します。（令和3年9月27日（月）頃お知らせする予定です。）
- 3) 本説明会は技術の採用を約束するもの、また技術を評価するものではありません。
- 4) 本説明会にかかる資料作成、郵送費、交通費等の費用は応募者の負担となります。
- 5) 発表はweb会議形式（Microsoft teams）とします。

第15回 企業技術説明会 応募様式

技術名称		区分		使用可能な工事	
開発会社名				従来技術	
NETIS登録	登録番号				
技術概要					
従来技術との比較	経済性				
	安全性				
	耐久性				
	品質・出来形				
	施工性				
	周辺環境への影響				
	その他				
技術の成立性を確認するために実施した試験・実験等				留意事項	
問い合わせ先					
会社名					
担当部署				担当者	
住所					
TEL		FAX		E-mail	

注意事項

区分： 製品・材料・工法・システム・機械等を記入。

使用可能な工事： 具体的にどのような工事に使用できるか記入。

従来技術： 比較対象となる従来技術、広く一般的に普及している技術を記入。具体的な技術名は記入しない。

NETIS登録： 登録済みであれば、登録番号を記入。今後、登録を予定している場合は登録地整・登録時期等を記入。登録予定がなければ無しと記入。

技術概要： 当該技術の内容を簡単にまとめて記入。

従来技術との比較： 従来技術との比較を具体的に記入。優れた点だけでなく、劣る点についても記入。

技術の成立性を確認するために実施した試験・実験等： 室内試験、第三者機関(具体的名称)による技術評価の取得等具体的に記入。

留意事項： 当該技術を使用するにあたっての留意事項を記入。特許、特定条件での使用は適さない……等を記入。

第15回 企業技術説明会 開催要領

- 1) 発表はWeb会議形式（Microsoft teams）とします。
事務局が参加者を識別できるよう、参加者名には氏名・所属の情報を含むようにしてください。また、発表者は参加者名の最初に【発表者】と記載してください。
- 2) 配信映像の録画・録音は絶対に行わないでください。
- 3) 会議 URL は申し込み者へメールでご連絡します。なお、第三者に知らせないでください。
- 4) 発言する時（発表・質疑）以外ではマイク及びカメラは OFF に設定してください。
ノイズ防止のためです。

[発表者向け]

- 5) 発表者は、ご自身の発表の10分前までに接続してください。
また、ご自身の発表の開始直前に、カメラ（推奨）、マイクを ON に設定し、発表資料を画面共有してください。
発表終了後は、画面共有を停止し、カメラ、マイクを OFF に設定してください。
- 6) 発表時間は20分（準備を含む）、質疑応答時間は5分の計25分程度とします。
発表時間は厳守とし、20分経過した時点で、発表途中の場合でも打ち切りとします。
発表時間の計測はお手持ちの時計でお願いします。終了は音声によりお知らせします。
- 7) 聴講者への配付資料については、事前に提出ください。様式は問いません。
提出期限10月6日（水）必着。なお必要部数は10月4日（月）までにお知らせします。
- 8) 提出して頂いた発表データ及び配付資料は当局関係部署等に提供する場合があります。

[聴講者向け]

- 9) 当日は発表者を含めた関係者の終日の聴講が可能です。発表者以外の方が参加される場合は事前にお申し込み下さい。
- 10) 質問は挙手機能ではなく、事務局への声かけを推奨します。
質問される場合はカメラ（推奨）、マイクを ON にして、事務局へ声かけを行ってください。
事務局から指名されたら、所属と氏名を伝えた後に質問を行ってください。
質問終了後はカメラとビデオを OFF にしてください。
時間内に質問ができなかった場合は後日事務局へご連絡ください。
- 11) 聴講は、国土交通省職員、地方自治体職員並びに、発表関係者等を対象とします。

[その他]

- 12) 不明な点がある場合は事務局まで問い合わせ下さい。

企業技術説明会 発表技術一覧

第1回 企業技術説明会

開催日:平成21年6月22日(月)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業等
1	13:25	～ 13:45	MLT工法	株式会社 エムエルティーソイル
2	13:45	～ 14:05	粒子法(MPS法)を用いた解析技術	株式会社 ニュージェック
3	14:05	～ 14:25	現地で運用するための工事中の濁り拡散予測システム	株式会社 エコー
	14:25	～ 14:35	休憩	
4	14:35	～ 14:55	PREDAM(プレダム)工法	若築建設 株式会社
5	14:55	～ 15:15	地中無線通信システム	坂田電機 株式会社
6	15:15	～ 15:35	貝殻利用技術「JFシェルナース」	全国漁業協同組合連合会
	15:35	～ 15:45	休憩	
7	15:45	～ 16:05	岸壁・護岸耐震補強アンカー工法	株式会社 エスイー
8	16:05	～ 16:25	トゥーリフレッシュャーシステム	株式会社 本間組
9	16:25	～ 16:45	GPサンプリング	基礎地盤コンサルタンツ 株式会社

第2回 企業技術説明会

開催日:平成21年11月30日(月)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:10	～ 13:35	3次元レーザースキャナによる空間計測工法	株式会社 トップライズ
2	13:35	～ 14:00	波浪共振型消波工法	株式会社 三柱
3	14:00	～ 14:25	TP(チタンパーペトドラム被覆)工法	日鉄防蝕 株式会社
	14:25	～ 14:35	休憩	
4	14:35	～ 15:00	エキスパッカーN工法	日特建設 株式会社
5	15:00	～ 15:25	渦消波型長周期波対策工	五洋建設 株式会社
6	15:25	～ 15:50	バックホウ型スーパーグラブバケット(SGB)浚渫工法	東亜建設工業 株式会社
	15:50	～ 16:00	休憩	
7	16:00	～ 16:25	海藻植え付け方式による藻場造成ブロック工法	本間コンクリート工業 株式会社
8	16:25	～ 16:50	ペルメックス	株式会社 不動テトラ
9	16:50	～ 17:15	ソイルクリーンシステム(ソックス工法)	株式会社 本間組

第3回 企業技術説明会

開催日:平成22年6月28日(月)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:25	～ 13:50	環境活性コンクリート	日建工学 株式会社
2	13:50	～ 14:15	SPD—M工法	東亜建設工業 株式会社
3	14:15	～ 14:40	海洋レーダーによる海象情報配信システム	国際航業 株式会社
	14:40	～ 14:50	休憩	
4	14:50	～ 15:15	高強度PRC版	株式会社 ガイアートT・K
5	15:15	～ 15:40	VHS工法による海域制御システム	五洋建設 株式会社
6	15:40	～ 16:05	新しい消波ブロック—テトラネオー	株式会社 不動テトラ

第4回 企業技術説明会

開催日:平成22年12月3日(金)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:40	～ 14:05	高耐波安定性消波ブロック(グラスブ)	日建工学 株式会社
2	14:05	～ 14:30	2段タイ材地下施工法	若築建設 株式会社
3	14:30	～ 14:55	底天端有脚式離岸堤バリアウイント	東洋建設 株式会社
	14:55	～ 15:05	休憩	
4	15:05	～ 15:30	SAVE・SP(セーブ・エスピー)工法	株式会社 不動テトラ
5	15:30	～ 15:55	生物共生型多孔質ブロック	本間コンクリート工業 株式会社
6	15:55	～ 16:20	潜水作業管理システム	株式会社 本間組

第5回 企業技術説明会

開催日:平成23年12月1日(木)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:40	～ 14:05	浸透固化処理工法	五洋建設 株式会社
2	14:05	～ 14:30	吸出防止目地材 RF型目地材	シバタ工業 株式会社
3	14:30	～ 14:55	コンクリート保水養生テープ	住友スリーエム 株式会社
	14:55	～ 15:05	休憩	
4	15:05	～ 15:30	グラウンドアンカー耐震補強技術	社団法人 日本アンカー協会
5	15:30	～ 15:55	ESR工法	新潟県土質改良事業協同組合
6	15:55	～ 16:20	ケーソン据付管理システム	株式会社 本間組

第6回 企業技術説明会

開催日:平成24年11月30日(金)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:40	～ 14:05	捨石均し精度緩和対応摩擦増大アスファルトマット工法	海洋アスファルト工法研究会
2	14:05	～ 14:30	マルチジェット工法	前田建設工業株式会社
3	14:30	～ 14:55	クレーン作業安全誘導システム	株式会社本間組
	14:55	～ 15:05	休憩	
4	15:05	～ 15:30	防波堤港内側補強工法「サブプレオフレーム」	日建工学株式会社
5	15:30	～ 15:55	RSプラス	新日鐵住金株式会社
6	15:55	～ 16:20	回転式破砕混合工法によるリサイクル技術	日本国土開発株式会社

第7回 企業技術説明会

開催日:平成25年11月29日(金)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:40	～ 14:05	超多点注入工法	地盤注入開発機構 恒久グラウト・本設注入協会
2	14:05	～ 14:30	泥土リサイクル技術「ボンテラン工法」	ボンテラン工法研究会
3	14:30	～ 14:55	SAVE-SP(セーブ・エスピー)工法	株式会社 不動テトラ
	14:55	～ 15:05	休憩	
4	15:05	～ 15:30	NEWネオソーラⅢ	五洋建設株式会社、株式会社仙台銘板、株式会社エスエスシー
5	15:30	～ 15:55	非鉄スラグを利用した港湾・空港用工事のコストダウン	日本鉱業協会
6	15:55	～ 16:20	ソイルセパレーター・マルチ工法	東亜建設工業株式会社

第8回 企業技術説明会

開催日：平成26年11月21日(金)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	10:10	～ 10:35	ひずみや変位等の簡易モニタリングシステムの開発	東電設計株式会社
2	10:35	～ 11:00	空港の耐震化における液状化対策技術～SAVE-SP工法～	株式会社不動テトラ
3	11:00	～ 11:25	CPGガイドアーク工法	静的圧入締固め工法研究会
4	11:25	～ 11:50	ニューマチックケーソン工法の港湾構造物への適用	株式会社大本組
	11:50	～ 13:10	昼 休 憩	
5	13:10	～ 13:35	ケーソン据付工事における安全性確保と施工性向上技術	株式会社本間組
6	13:35	～ 14:00	プレミックス船工法	プレミックス船工法協会
7	14:00	～ 14:25	ジェットポンプ式サンドバイパス工法	五洋建設株式会社、カルドノ社
	14:25	～ 14:35	休 憩	
8	14:35	～ 15:00	PFPI工法による浚渫土の減容化と有効活用	りんかい日産建設株式会社
9	15:00	～ 15:25	パフェグラウト工法	日特建設株式会社
10	15:25	～ 15:50	高耐久組立式PC栈橋	株式会社日本ピーエス
11	15:50	～ 16:15	Kui Taishin-SSP工法	オリエンタル白石株式会社

第9回 企業技術説明会

開催日：平成27年11月26日(木)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:05	～ 13:30	吸水性泥土改良材「ワトル」	ジャイワット株式会社
2	13:30	～ 13:55	ハイブリッド型真空圧密工法	五洋建設株式会社
3	13:55	～ 14:20	PFPI工法による浚渫土の減容化と有効活用～新たな活用先の提案～	りんかい日産建設株式会社
	14:20	～ 14:30	休 憩	
4	14:30	～ 14:55	かく乱・減容化技術	東亜建設工業株式会社
5	14:55	～ 15:20	捨石施工システム	株式会社本間組
6	15:20	～ 15:45	ツイスタ	技研興業株式会社
	15:45	～ 15:55	休 憩	
7	15:55	～ 16:20	港湾施設等に対する電磁波レーダー空洞探査	みらい建設工業株式会社
8	16:20	～ 16:45	多点同時注入工法	地盤注入開発機構 液状化防止注入協会
9	16:45	～ 17:10	FTJ-FAN(エフティジェイ・ファン)工法	株式会社不動テトラ

第10回 企業技術説明会

開催日：平成28年11月18日(金)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	14:40	～ 15:05	超防食コーティング材ラスタップ2100シリーズ	株式会社アクセス
2	15:05	～ 15:30	没水型長周期波対策工	株式会社不動テトラ
	15:30	～ 15:40	休 憩	
3	15:40	～ 16:05	水中三次元座標測量システム	株式会社本間組
4	16:05	～ 16:30	ラジコンボートを用いた港湾構造物の点検・診断システム	五洋建設株式会社

第11回 企業技術説明会

開催日：平成29年10月26日(木)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	14:40	～ 15:05	CI-CMC-HA(シーアイ シーエムシー イチイー)工法	株式会社不動テトラ
2	15:05	～ 15:30	空気注入不飽和化工法(Air-des工法)	東亜建設工業株式会社
	15:30	～ 15:40	休憩	
3	15:40	～ 16:05	水中3D誘導システム	株式会社本間組
4	16:05	～ 16:30	船舶レーダーモニタリングシステム	りんかい日産建設株式会社

第12回 企業技術説明会

開催日：平成30年11月20日(火)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:40	～ 13:55	SLJスラブ	オリエンタル白石株式会社
2	13:55	～ 14:10	土留部材引抜同時充填注入工法	協同組合Masters
3	14:10	～ 14:25	NSカバープレート	新日鉄住金エンジニアリング株式会社
4	14:25	～ 14:40	拡張現実を用いた水中可視化技術 Beluga-AR	東亜建設工業株式会社
	14:40	～ 14:50	質疑応答	
	14:50	～ 15:00	休憩	
5	15:00	～ 15:15	水中ドローンを使用した海洋構造物調査	ポートコンサルタント株式会社
6	15:15	～ 15:30	4Dソナーによる施工管理システム	五洋建設株式会社
7	15:30	～ 15:45	消波工の3次元点群を用いた消波ブロックのソリッドモデリング技術	株式会社不動テトラ
8	15:45	～ 16:00	PPTシステム	株式会社技研製作所
	16:00	～ 16:10	質疑応答	

第13回 企業技術説明会

開催日：令和元年11月28日(木)

発表技術

	発表時間		技術名称	発表企業
1	14:10	～ 14:35	D・Box工法	パンフィックコンサルタンツ株式会社
2	14:35	～ 15:00	流電陽極出力電流解析工法	日本防蝕工業株式会社
3	15:00	～ 15:25	ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)	前田工織株式会社
	15:25	～ 15:40	休憩	
4	15:40	～ 16:05	高炉スラグ細骨材を用いた超耐久性コンクリート「ハレーサルト」	ランデス株式会社
5	16:05	～ 16:30	3次元データを活用した消波工の設計から維持管理の効率化技術	株式会社不動テトラ
6	16:30	～ 16:55	ICTを適用したブロック据付工	株式会社本間組

第14回 企業技術説明会

開催日：令和2年10月22日(木)

	発表時間		技術名称	発表企業
1	13:30	～ 13:50	港湾施設被害診断システムの開発	株式会社ニュージェック
2	13:50	～ 14:10	LSS流動化処理土による護岸空洞補修工法(ジュウテンバッグ工法)	徳倉建設株式会社
3	14:10	～ 14:30	耐候性大型土のう(ツートンバッグ)を使用した高潮・高波被害への直前予防対策	前田工織株式会社
4	14:30	～ 14:50	消波ブロック据付工の生産性向上に向けた水中可視化技術	株式会社本間組
	14:50	～ 15:00	休憩	
5	15:00	～ 15:20	根入れ式ケーソン工法	株式会社大本組
6	15:20	～ 15:40	「ラクナ・IV」の没水型長周期波対策工への適用	日建工学株式会社
7	15:40	～ 16:00	GeoPilot@-AutoPile	株式会社不動テトラ
8	16:00	～ 16:20	コンクリート型枠振動機締固めシステム	若築建設株式会社